

エコアクション21(EA21) 環境経営レポート

2023年度
(2023年2月～2024年1月)



作成 : 2024年11月 20日



株式会社 小名木川ギヤー



認証・登録番号 0004209

承認	作成
代表取締役社長	環境事務局課長

I . 組織の概要

会社概要

1. 事業所名及び代表者

株式会社 小名木川ギヤー
代表取締役社長 岩崎 厚三

2. 所在地

本 社；〒135-0003 東京都江東区猿江1丁目2番7号
TEL 03-3631-0037(代)
FAX 03-3635-0868
E-mail ong@green.ocn.ne.jp
千葉工場；〒299-4111 千葉県茂原市萱場1525番地
TEL 0475-34-4536(代)
FAX 0475-34-4568
E-mail ongchb@peach.ocn.ne.jp
大網分工場；〒299-3251 千葉県大網白里市大網1803番地
TEL 0475-73-1816
FAX 0475-71-2063

3. EA21責任者・連絡先

環境管理責任者 担当課長 岩崎 洋明 E-mail h_iwasaki@onagigawa.co.jp
環境事務局 担当課長 岩崎 洋明 E-mail h_iwasaki@onagigawa.co.jp
TEL 0475-34-4536(代)
FAX 0475-34-4568

4. 事業の規模

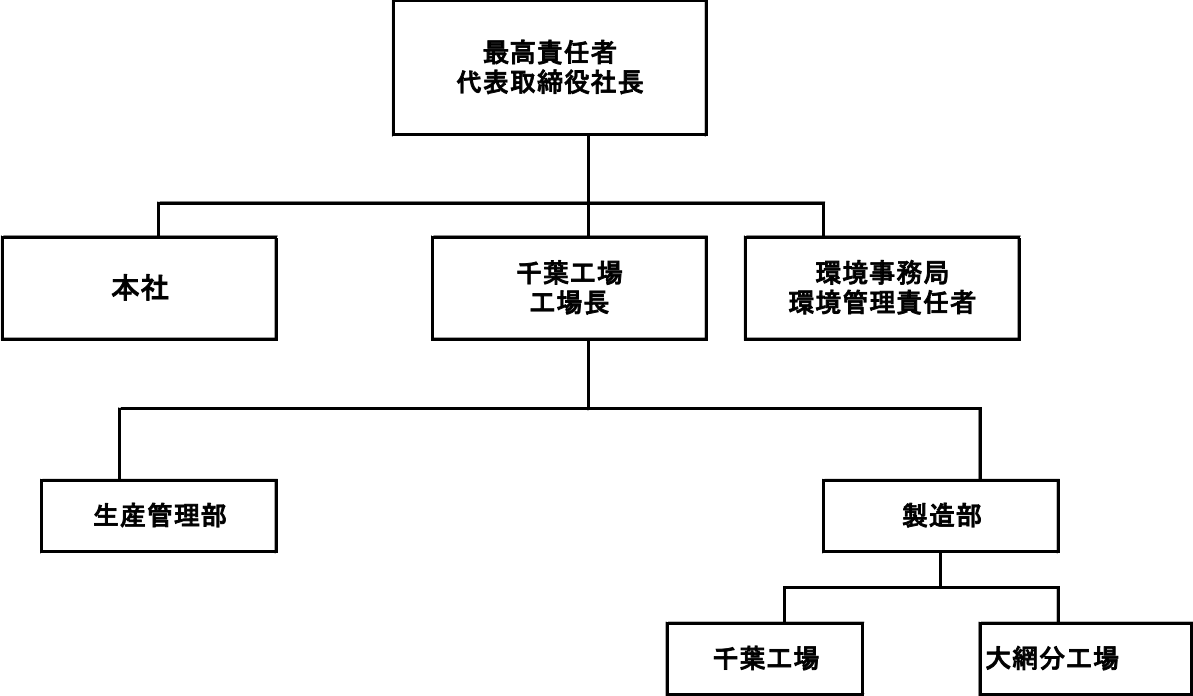
従業員数 85名（2024年 1月）
売上高 166百万円 2023年度（2023年2月～2024年1月）
敷地面積 本社 366 m²
千葉工場 7,874 m²
大網分工場 1,468 m²
床面積 本社 195 m²
千葉工場 3,841 m²
大網分工場 1,282 m²

5. 環境負荷の実績

項 目	単 位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円		159	166
生産数量	トン	2,638	2,703	2,832
従業員数	人	73	81	85
電気使用量	kWh	1617258	1,498,720	1,575,652
灯油使用量	ℓ	21,015	19,964	17,969
軽油使用量	ℓ	32,446	30,920	32,466
ガソリン使用量	ℓ	18,225	17,357	16,489
LPG使用量	kg	909	866	822
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	888,496	846,187	930,805
一般廃棄物排出量	トン	20006	19,005	18,054
産業廃棄物排出量	トン	150	150	142
水使用量	m ³	996	970	1,067

6. 実施体制

(1) 組織図(2023年2月)



(2) 責任と権限

社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 環境レポートの発行責任者
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置 2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者 4. 環境レポートの作成責任者
EA21事務局	1. 環境経営システムの手続き等を遂行 2. 契約業務等事務処理、環境活動からのデータ収集
工場長	1. 工場における現場指揮及び実績管理 2. ライン運転、製造、保管及びEA21活動現場責任者
部門長	1. 部門の環境活動の責任者 2. 自部門の実施状況を日常的に点検し、改善を指導する
従業員	1. 自部門の目標を実行し、改善に努める

Ⅱ， 対象範囲

- 1. 対象事業所： 本社,千葉工場,大網分工場
- 2. 事業活動： 歯車の製造

Ⅲ、 環境経営方針

基本理念（我らの地球を守ろう！）

当社は、地球環境保全が全人類にとって最大重要課題であることを深く認識し、事業活動のすべての面で環境に配慮した行動に努め、同時に地域社会との調和を保ちながら事業を推進・発展させていくことを目指します。

基本方針

1. 歯車製造の事業活動を通じて環境経営システムを構築し、人と地球に優しい事業活動の推進と環境負荷の低減に努めます。
2. 環境に関する法規制を遵守し、環境汚染の防止と環境保全に努めます。
3. 当社の環境活動は、以下を重点的に行っていきます。
 - 1) 工場、事務所内での省資源・省エネルギーの取り組み。
 - 2) 生産活動にともなう加工不良、廃棄物、排出物の削減。
 - 3) 節水、切削油・灯油等の管理強化。
 - 4) 化学物質削減、若手社員の技術力向上及び技術伝承。
 - 5) 調達品のグリーン購入。
4. 本方針に基づき環境目標を定め、環境活動計画に従って自主的かつ積極的な活動を展開するとともに、必要があれば環境方針の見直しを実施します。
5. 本方針を従業員および協力企業に周知するとともに、当社の活動を示した活動レポートを作成し、社外に公表します。

制定 2010年 1月 27日
改定 2023年 2月 1日
株式会社 小名木川ギヤー
代表取締役 岩崎 厚三

IV. 環境経営目標

1. 2021年度～2023年度中期3ヵ年計画（当初計画）

項 目	単位	2021年度 (実績値)	2022年度 (実績値)	2023年度 (目標値)	2023年度 (実測値)
電気使用量(本社)	kWh/年	7,159	7159	7,513	7,513
電気使用量 葉工場) (千	kWh/年	1,406,994	1314948	1,380,696	1,358,877
	kWh/生産量	533.36	486.48	486.50	456.15
電気使用量 網分工場) (大	kWh/年	203,105	176,613.0	185,443.0	98,409.0
	kWh/生産量	76.99	65.34	65.34	33.03
電気使用量 社合計) (全	kWh/年	1,617,258	1,498,720	1,575,652	1,464,799
	kWh/生産量	613.06	554.47	555.20	491.71
灯油使用量	L/年	21,015	19,964	17,969	12,066
	L/生産量	7.97	7.39	6.33	4.22
軽油使用量	L/年	32,446	30,920	324,660	29,961
	L/生産量	12.30	11.44	114.40	10.48
ガソリン使用量	L/年	18,225	17,357	16,489	18,215
	L/生産量	6.91	6.42	5.81	6.37
LPG使用量	L/年	909	866	822	741
	L/生産量	0.34	0.32	0.29	0.26
温室効果ガス排出量(注)	kg-CO2/年	888,496	846,187	930,805	792,803
	kg-CO2/生産量	337	313	328	277
水使用量 葉・大網合計) (千	m³/年	990	970	970	1,051
	m³/生産量	0.375	0.359	0.342	0.367
一廃排出量	kg/年	20,006	19,005	18,054	20,006
	kg/生産量	7.58	7.03	6.36	7.00
産廃排出量	t/年	150	150	142	135
	t/生産量	0.057	0.055	0.050	0.047
生産量	t/年	2,638	2,703	2,838	2,860
化学薬品管理	L	1000	1200	1200	1400
グリーン購入	%	100%	100%	100%	100%

注：2023年度の電力のCO2排出係数は、前年度と同じとします。

中期計画の主要なポイント

- ① 生産量ですが2022年度実績の1.05%増のトン为目标にします。
- ② 本社の電気は横ばい、工場の電気、灯油、軽油及び産廃は前年の原単位維持を維持します。
- ③ ガソリンは2022年度の95%とし、その後はこの数値を維持します。
- ④ 水は2022年度の数値をオーバーしました。(うがい手洗いの徹底)
- ⑤ 一廃は2022年度の数値より5%ダウンをしていきたい、その後は継続をします。
- ⑥ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

V. 環境経営計画と実施した取組内容

1. 主要な環境経営計画の内容

No.	項 目	活動内容
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(毎月、(課長、グループ長2名)巡回点検)
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
		④未使用の場所の電灯はつけない。
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン使用量	①フォークリフトの省エネ運転励行(管理者注視による指導)
		②社有車の計画的運行
		③省エネ社有車の導入
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)
		②エコドライブの遵守
5	LPG使用量	①ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		②手洗い等のお湯使用時の節約
6	二酸化炭素排出量	①加工時間の効率化をする。
		②エコドライブの遵守
		③軽油・ガソリン・灯油・LPGの適正使用
7	一般廃棄物排出量	①再利用できる材質に変更
		②コピーの縮減、裏紙の利用促進
		③分別励行による可燃物縮減
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油のリサイクル
		②廃棄物の分別徹底
		③廃棄物発生源の撲滅実施
		④破損パレット返却励行
9	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け
		②朝礼等にて啓蒙活動
10	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定
		②納入品のグリーンマーク確認



VI. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境活動計画

1. 2024年度環境経営目標の見直し

項 目	単位	2021年度 (実績値)	2022年度 (実績値)	2023年度 (目標値)	2023年度 (実績値)	2024年度 (目標値)
電気使用量(本社)	kWh/年	7,159	7,159	7,513	7,513	105% 7,889
電気使用量 (千葉工場)	kWh/年	1,406,994	1,314,948	1,380,696	1,358,877	110% 1,494,765
	kWh/生産量	398.69	486.48	486.50	475	475.13
電気使用量 (大網分工場)	kWh/年	203,105	176,613	185,443	98,409	105% 103,329
	kWh/生産量	57.55	45.81	48.10	34.41	32.84
電気使用量 (全社合計)	kWh/年	1,617,258	1,498,720	1,573,652	1,464,799	110% 1,605,983
	kWh/生産量	462.07	388.77	408.21	512.17	510.48
灯油使用量	L/年	21,015	19,964	17,969	12,066	110% 12,669
	L/生産量	8.08	5.18	4.66	4.22	4.03
軽油使用量	L/年	32,446	30,920	35,557	29,961	110% 32,957
	L/生産量	12.48	8.02	12.53	10.48	10.48
ガソリン使用量	L/年	18,225	17,357	16,489	18,215	105% 19,126
	L/生産量	7.01	6.42	5.81	6.37	6.08
LPG使用量	L/年	909	866	822	741	105% 778
	L/生産量	0.35	0.32	0.29	0.26	0.25
温室効果ガス排出量(注)	kg-CO2/年	888,496	846,187	863,168	795,892	869,106
	kg-CO2/生産量	341.73	313.05	304.15	278.28	276.26
水使用量(全社計)	m³/年	990	970	970	1,051	105% 1,104
	m³/生産量	0.38	0.36	0.34	0.37	0.35
一廃排出量	kg/年	20,006	19,005	18,054	20,006	95% 19,006
	kg/生産量	7.69	7.03	6.36	7.00	6.04
産廃排出量	t/年	150	150	142	135	105% 142
	t/生産量	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05
生産量	t/年	2,600	2,703	2,838	2,860	110% 3146
化学薬品管理	%	1,000	1,200	1,000	1,600	1,600
グリーン購入	%	1.00	1.00	1.00	100	1.00

注: 2023年度の電力のCO2排出係数は本社は0.413kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー)
注: 2023年度の電力のCO2排出係数は千葉工場は0.431kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー)、
注: 2023年度の電力のCO2排出係数は大網分工場は0.48kg-CO2/kWh(ENEOS電気)、

2023年度環境経営目標改定の主要なポイント

- ① 生産量を2023年度実績値の10%増加とします。
- ② 本社の電気使用量は2023年度の数値と同等とします。
- ③ 工場の電気使用量は2023年度原単位実績を維持します。
- ④ 灯油、軽油、ガソリン、LPG、水、一廃、産廃は2023年度原単位を0.01削減します。
- ⑤ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

2. 2023年度環境活動の実績

評価 ◎:110%以上達成、○:100%～109%達成、△:97%～99%達成、×:96%以下

項 目	単位	目標値	実績値	達成率	評価	コメント
電気使用量(本社)	kWh/年	7,513	7,513	100%	○	節電を徹底した。
電気使用量 (千葉工場)	kWh/年	1,380,696	1,358,877	102%	○	生産量は増加をしましたが、 節電対策により目標値を下 回った。
	kWh/生産量	510.80				
電気使用量 (大網分工場)	kWh/年	185,443	98,409	147%	◎	千葉工場から、後期に機械の 移動があり、生産量の増加が 見込まれましたが、目標値を 下回った。
	kWh/生産量	68.61	34.41			
電気使用量 (全社合計)	kWh/年	1,573,652	1,464,799	107%	○	全体的に生産量は増えまし たが、機械の節約が表れて、目 標値を下回った。
	kWh/生産量	582.19	512.17			
灯油使用量	L/年	17,969	16,430	109%	○	気温の変化により石油ストー ブの使用量が減少した。
	L/生産量	6.65	5.74			
軽油使用量	L/年	35,557	29,961	116%	◎	生産数量の増加で運搬車両 の使用も増加したが、積載の 方法などの改善の兆しが表れ て目標値を下回った。
	L/生産量	13.15	10.48			
ガソリン使用量	L/年	16,489	18,215	0.895%	×	全体的に、生産数量ので フォークリフト、営業車の使用 量が増加したため目標値を上 回った。
	L/生産量	6.10	6.37			
LPG使用量	kg/年	822	741	110%	○	天候の変化により、給湯施設 やシャワー施設の適正利用が 徹底した。
	kg/生産量	0.30	0.26			
温室効果ガス排出量(注)	Kg-CO2/年	863,168	795,892	108%	○	生産数量の増加により、全体 的には排出量の変動も考えた が、結果は目標値を下回っ た。。
	kg-CO2/生産量	319.34	278.28			
水使用量	m ³ /年	970	1,051	0.91%	×	手洗い・うがいの回数を増やし て健康づくりを強化したため に、使用量も目標値をオー バーした。
	L/生産量	0.36	0.37			
一廃排出量	kg/年	18,054	20,006	0.89%	×	生産量の増加に伴い排出量も 増加した。
	Kg/生産量	6.68	7.00			
産廃排出量	t/年	142	135	105%	○	排出量の削減効果が表れて 目標値の範囲内におさまっ た。
	t/生産量	0.05	0.047			
生産量	t/年	2,703	2,860	0.94%	×	生産量の増加傾向が表れた。
化学薬品管理	%	1,200	1,600	0.66%	×	PRTR物質の購入量を把握し た。
グリーン購入	%	100	100	100%	○	事務用品を中心に環境配慮 製品を購入した。

注:電力のCO2排出係数:本社は0.411kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー)、
千葉工場は、0.435kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー)を使用。
大網分工場は、0.48kg-CO2/kWh(ENEOS電気)を使用。

3 . 2023年度主要な活動計画の結果

No.	項 目	活動内容	評価
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)	○
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)	
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)	
		④たこ足配線の改善。	
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)	○
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)	
		③洗浄油再利用の活性化	
3	ガソリン使用量	①フォークリフトの省エネ運転励行(管理者注視による指導)	×
		②社有車の計画的運行	
		③省エネ社有車の導入	
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)	○
		②エコドライブの遵守	
5	LPG使用量	①ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)	○
		②手洗い等のお湯使用時の節約	
6	二酸化炭素排出量	①節電活動	○
		②エコドライブの遵守	
		③灯油、LPGの適正使用	
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更	×
		②コピーの縮減、裏紙利用促進	
		③分別励行による可燃物縮減	
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油のリサイクル	○
		②廃棄物の分別徹底	
9	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け	×
		②朝礼等にて啓蒙活動	
10	調達品のグリーン 購買	①注文時にグリーン用品を指定	○
		②納入品のグリーンマーク確認	

評価: ○大変良く実施した。○良く実施した。△まだ改善の余地がある。×活動に不足がある。

2023年度環境目標及び活動計画の達成状況

【環境目標の達成度】

- ① 生産量は、昨年の集計より5%ほど上回りました。
- ② 電気使用量は、工場機械稼働率の増産でしたが、目標値を下回った。
- ③ 軽油、灯油、LPGについては目標値を達成しましたが、ガソリンは使用量の増加で未達成でした。
- ④ CO₂排出量は生産数量の増加で、電気量、エネルギーなどの使用量の増加を考慮しましたが、排出係数の目標値を下回ったために良い結果となった。
- ⑤ 水は、手洗い等の増加はありましたので、目標値をオーバーしました。
- ⑥ 一廃は生産量増加などで未達成でした。一方、産廃も分別の徹底で目標を達成しました。
- ⑦ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価しました。

【環境活動の達成度】

- ① 全体的に、目標値を下回った結果に落ち着いたようです。

4 . 次年度の環境経営目標及び環境経営計画ページ

(1) 2022年度～2024年度環境経営目標中期3か年計画

項 目	単位	2022年度 (実績値)	2023年度 (目標値)	2023年度 (実績値)	2024年度 (目標値)
電気使用量(本社)	kWh/年		117%	117%	105%
		6,443	7,513	7,513	7889
電気使用量 (千葉工場)	kWh/年	1,260,635	1,380,696	1,358,877	14,948
	kWh/生産量	466.38	576.01	475.13	475
電気使用量 (大網分工場)	kWh/年	176,613	185,443	98,409	103,329
	kWh/生産量	73.68	77.36	34.41	33
電気使用量 (全社合計)	kWh/年	1,288,428	1,573,652	1,464,799	1,605,983
	kWh/生産量	537.52	656.51	512.17	510
灯油使用量	L/年	21,315	17,967	16,430	15,609
	L/生産量	8.89	7.50	5.74	4.96
軽油使用量	L/年	35,801	37,591	29,961	32,957
	L/生産量		15.68	10.48	10.48
ガソリン使用量	L/年	17,794	16,489	18,215	19,126
	L/生産量	7.42	6.88	6.37	6.08
LPG使用量	L/年	1,139	822	741	778
	L/生産量	0.48	0.34	0.26	0.25
温室効果ガス排出量(注)	kg-CO ₂ /年	846,187	863,168	795,892	875,481
	kg-CO ₂ /生産量	353	360	278	278.28
水使用量 (千葉・大網計)	m ³ /年	1,177	970	1,051	1,104
	m ³ /生産量	0.49	0.40	0.37	0.35
一廃排出量	kg/年	19,005	18,054	20,006	19,006
	kg/生産量	7.93	7.53	7.00	6.04
産廃排出量	t/年	150	142	135	142
		0.05	0.05	0.05	0.05
生産量	数値	2,703	2,838	2,860	3146
	%			106%	110%
化学薬品管理	SDS シート確認	実施	実施	実施	実施
グリーン購入	カタログ	確認	確認	確認	確認

注：電力(2023年度)のCO₂排出係数は千葉工場は0.435kg-CO₂/kWh、(東京電力エネルギーパートナー)

注：電力(2023年度)のCO₂排出係数は大網分工場は0.48kg-CO₂/kWh、(エネオス電気)

注：電力(2023年度)のCO₂排出係数は本社は0.411kg-CO₂/kWh、(東京電力エネルギーパートナー)

(2) 主要な環境活動の内容

No.	項 目	活動内容
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)
		②社有車の計画的運行
		③省エネ社有車の導入
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)
		②エコドライブの遵守
5	LPG使用量	①ガスのストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		②手洗い等のお湯使用時の節約
6	二酸化炭素排出量	①節電活動
		②エコドライブの遵守
		③灯油、LPGの適正使用
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更
		②コピーの縮減、裏紙利用促進
		③分別励行による可燃物縮減
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油のリサイクル
		②廃棄物の分別徹底
		③破損パレット返却励行
9	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け
		②朝礼等にて啓蒙活動
10	化学薬品の管理	①SDSの入手配備と使用時教育の実施
		②購入履歴の把握
11	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定
		②納入品のグリーンマーク確認

【環境目標】

- ① 生産量は、得意先の2023年度実績の10%の増加を目標とします。
- ② 電気使用量は本社は現状維持、工場は2023年度原単位実績を毎年0.01%削減とします。
- ③ 灯油、軽油、ガソリン、LPGは2023年度原単位実績を維持とします。
- ④ 電力のCO₂排出量は2023年度契約電力会社の排出係数で算出しました。
- ⑤ 水は、2023年度原単位実績を維持とします。
- ⑥ 一廃、産廃は2023年度原単位実績を維持とします。
- ⑦ グリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

【環境活動計画】

- ① テーマ毎の主な活動は前年度までの内容を継続します。
- ② 環境管理責任者によるエコ21パトロールを実施し、活動状況をチェックします。
- ③ ①社員駐車場Aの出入口と、市道の出入り口の交差点にカーブミラーを設置しました。
(2023年12月4日(月))

【環境活動計画】

② 消火・救急に関する実習訓練の実施。

1 2023年6月9日(水)に、救急講習を実施した。

・千葉工場、大網分工場社員の出席のもと、AED作業の実習訓練をした。

会場は、千葉工場会議室にて、3グループにわけ行った。

指導員として、消防署の担当者により、1グループを4つに分け実習をした。

・訓練をした社員は、指導者のAED作業を見学して、実習教育した。



③ 消防・避難訓練の実施

・2023年12月15日(金) 午前10時10分から消火消防訓練。

・出火場所 (第1工場のコンプレッサー付近)

・消火担当者は出火現場において、消火作業を行う。

・他の社員は広場に集合して、消火作業の終了後、水消火器にて消火訓練を行う。



VII 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用される主な環境法規は下記の通りです。(2023年2月1日)

- * 廃棄物処理法
- * 家電リサイクル法
- * 自動車リサイクル法
- * 建設リサイクル法
- * 騒音規制法
- * 振動規制法
- * 消防法
- * 自動車NOxPM法
- * 道路交通法
- * 労働安全衛生法
- * フロン排出抑制法
- * 浄化槽法
- * 水質汚濁防止法
- * アルコールチェックの徹底

2. 過去3年間行政からの指摘や是正等の指導及び住民からの苦情はありませんでした。
環境関連法規制について、遵守確認の結果、問題はありませんでした。

VIII 代表者による全体評価と見直し・指示

2024年4月20日に環境経営活動について代表者による全体評価と見直しの指示を行いました。
その結果は以下の通りです。

2023年度は、昨年と同じく受注増加傾向にあり生産量も増加いたしました。
その結果、電気使用量は、千葉工場は大網分工場からの機械の移設があり、後半の使用量は、
増えたが、全体的に目標値より減少しました。灯油/LPGに関しましては、気温の変化により減少しました。
軽油の使用量は、昨年よりも減少しましたがガソリンの使用量は、上回りました。

また、温室効果ガス排出量は、昨年よりも減少しました。全体的に、EA21の活動を通じて節約傾向になったよう
よう確認しました。

尚、2024年度は、2023年度の実績から計画の一部を見直して取り組みます。

①	環境経営方針	変更なし
②	環境経営目標及び 環境経営計画	2024年度は2023年度に策定した新3か年計画の環境目標を、2023年度の実績から 一部改訂して取り組む。
③	実施体制	組織含めて変更なし